

人権だより

宇和高校人権委員会

作成者：人権委員

2020.07.15

◇人権ホームルーム活動について

6月下旬、各クラスの係や人権委員が中心となり、人権ホームルーム活動が行われました。それぞれの活動の様子や感想の一部を学年別に紹介します。

- 1年)「私たちと人権Ⅰ～より良い人間関係をつくろう～」というテーマのもと、「差別意識はどうして生まれるのか」「より良い人間関係を作り上げるためにどうしたらよいのか」について話し合いました。
- 2年)「解放運動の歴史Ⅰ～差別の起こりを学ぼう～」というテーマのもと、「中世と近世の差別の違い」「差別解消」について考えました。
- 3年)「差別をなくす生き方Ⅰ～確かな進路保障のために～」というテーマのもと、これから就職や進学のための面接を受験する生徒たちが、差別につながるおそれのある14項目について学習しました。

～ 1年生 ～

- 相手の言った意見を素直に聞いたり、自分が思ったことをはっきりと言ったりする、尊重し合う関係になれるよう努力したいです。
- 今回の活動を通して、「ありがとう」「ごめんなさい」という「言葉の大切さを再認識することができました。当たり前のことであっても「ありがとう」と言えるようにしていきたいです。



～ 2年生 ～

- 人権獲得の意義を学ぶことは、これから先どのような理由があっても不当な差別をさせないために必要なことだと感じました。
- 私たちにできることは、習ったことを正しく頭に入れて、差別をしている人を見つけたらきちんと正しい知識を伝えることだと思います。過去は変えられないけれど未来は必ず変えることができます。

～ 3年生 ～

- 面接試験では、すべての質問に答えないといけないと思っていたので、差別につながる質問があることに驚きました。不適切な質問を見抜ける力を身に付けたいと思いました。
- 就職するときに、自分ではどうしようもできないことや、自分以外のことで合否を判断されるのは辛いと思いました。知らないからと言って何もしないのは傍観者と同じなので、自分の友人や子どもに伝えて差別解消に努めたいです。



◇終わりに

今回の活動を通して、人権問題を自分のこととして考えることができたのではないのでしょうか。日ごろから人権について意識して生活しましょう。